

10 月 20 日 9 時 00 分 CRT スタジオで収録

10月27日から11月9日は読書週間。11月1日は本の日、11月30日は絵本の日です。

読書の秋です。この秋は読書に親しみましょう

開倫塾

塾 講 林明夫

Q 1 : 10月には読書週間があるそうですね。

A : (1) はい、10 月 27 日から 11 月 9 日は読書週間です。

(2) 折角の読書週間です。

(3) 普段あまり本を読まない人は、読書に親しむことをおすすめします。

Q 2 : 本はどのように読んだらよいのですか。

A : (1) ①本は最後まで読む。

②読みかけの本があれば、最後まで読むことをおすすめします。

③ずいぶん前に読んだ本は、忘れていることもあるので、1 ページから読む。

(2) ①著者との時空を超えた対話をしながら読む。

②そのために、本は書き込みをしながら読む。

③大切な本は、メモを取りながら読む。

(3) ①本は考えながら読む。

②本は行きつ戻りつしながら読む。

③本は 6 回読む。

Q 3 : 本はどこで読んだらよいのですか。

A : (1) ①本は、どこで読んでも OK。

②カバンの中に、文庫本や新書本、読みかけの本をいつも入れておき、ちょっとでも空いた時間があったら、著者との時空を超えた対話をしながら、書き込みをしながら、本を読むことをおすすめします。

③そして、気に入った文章があったら、「書き抜き読書ノート」に書き抜くことをおすすめします。

(2) ①学校図書館、公共図書館で本を読むのも面白い。自分の本、図書館の本を読むのが、図書館です。図書館の本には書き込みをしないこと、当然です。

②大学に入ったら大学図書館に毎日 1 回は行くこと。大学での読書と勉強は、大学図書館で行うことをおすすめします。

③アメリカの公共図書館の多くは、朝早くから夜遅くまで、365 日開館、アメリカの大学図書館は、365 日、24 時間開館しているところが多いようです。

(3) ①問題は、家のどこで本を読むかです。落ち着いて本を読めるところが、一番大事です。

②自分の机がある場合は、机を使って読む。

③蒲団の中で本を読むのが好きな人は、照明を十分に明るくして読む。

Q 4：最後に一言どうぞ。

A：(1) ①本を読んで身に着く力は、

②「思慮深さ」「省察力」です。「読解力」も身に着きます。

③いろいろなことを知ることができます。素晴らしい生き方を知ることができます。

(2) ① 11 月 1 日は「本の日」です。「大切な人に、本をプレゼント」しましょう。

② 11 月 30 日は「絵本の日」です。「大切な人に、絵本をプレゼント」しましょう。

③きっと喜ばれますよ。

(3) 読書の秋です。今年の秋は、読書に親しみましょう。

今年の読書の秋のおすすめ本は次の 2 冊です――

(1) 1 冊目は、トーマス・フリードマン著「バイルートからエルサレムへ」朝日新聞社 1993 年刊です。10 月 7 日のハマスによるイスラエル大攻撃とイスラエルのハマスに対する大反撃は「戦争」の様相を呈してきました。

(2) なぜこのような事態に至ったのか、この歴史的経緯と実情を知るのに最もふさわしいレポートが、1993 年に刊行された、ピューリッツァー賞を受賞した国際ジャーナリスト、トーマス・フリードマン氏の原著です。

(3) 2 冊目は、アジア学院校長の荒川朋子先生の最新刊「共に生きる『知』を求めて―アジア学院の窓から」ヨベル新書 2023 年刊です。世界の他宗教の人たちと共に住み、暮らし、働き、食し、共に成長する、アジア学院アジア農村指導者養成専門学校、校長先生としてのお考えをまとめたものです。